

エコキャップ回収運動 活動報告

2020年2月よりデイリーフーズビル（本社ビル）にて開始したエコキャップ回収運動を2022年度より全事業所へ活動を広げ、継続して取り組んで参りました。今回は2024年度の回収実績を集計いたしましたので、ご報告いたします。

○ 活動目的

森永乳業グループの「サステナビリティ中長期計画 2030」で掲げた3つのテーマのうち、「資源と環境」・「人と社会」にフォーカスし、社内のサステナビリティ活動への参加のきっかけとして社員の誰もが気軽に取り組むことができるエコキャップ回収運動を行っております。

当社ではエコキャップ回収運動を以下のような目的で行っております。

・支援国へワクチンの寄付

回収したキャップをリサイクル会社へ寄付し、そのキャップから製造したリサイクル製品を売却した利益を開発途上国へのワクチン代として寄付していただいております。

・ペットボトルゴミの分別

ペットボトルをリサイクルする際、キャップやラベルなどの異物が少ないほうがより純度の高い資源として再利用することができます。その為、当社ではキャップを洗浄してから回収BOXに入れることを徹底しております。実際に、東京都港区の家庭ごみではペットボトルからキャップとラベルを外してこれらを資源プラスチックとして捨てることになっています。キャップとペットボトル本体を分けて処分することはリサイクルの効率化へ多少なりとも貢献できると考えております。この取り組みは、森永乳業グループ環境方針（※）の基本方針より、「循環型社会形成に向けて、廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）及び適正処理を推進」することにもつながっていると考えております。

※森永乳業グループの環境方針 < <https://www.morinagamilk.co.jp/csr/environment/> >

○寄付実績

年度	キャップ回収量		ワクチン（人）	CO2削減量※（g）
	数量（個）	重量（kg）		
2020年度	20,000 個	40 kg	20 人	126.0 g
2021年度	25,000 個	50 kg	25 人	157.5 g
2022年度	42,950 個	93 kg	47 人	293.0 g
2023年度	58,282 個	126 kg	63 人	398.2 g
2024年度	106,891 個	232 kg	116 人	731.1 g
累計	253,123 個	542 kg	271 人	1,706 g

※上記はおおよその数字となります。

※キャップをごみとして焼却した場合に想定される発生量

（キャップ 1 kg で約 3.150 g の CO2 が発生する想定）

○ 今後の目標

- ・活動を継続する中で、エコキャップ回収がきっかけとなり、社内での飲料後の処理が改善され、さらに各家庭にもその意識が浸透しているのではないのでしょうか。また、社内ではペットボトルキャップの回収以外にも給茶機の紙コップ利用廃止等、マイコップやマイボトルの利用推進も行っております。今後も社員 1 人 1 人が「リサイクル」への意識を高められるよう、取り組んで参ります。
- ・エコキャップ回収運動の目的は当初、リサイクルの促進、CO2 の削減、売却益で発展途上国の医療支援（ワクチンの寄付）の 3 つでしたが、現在ではリサイクルの過程で雇用創出できることが分かり、障がい者・高齢者雇用促進も 1 つの目的として認識し、日々この活動に取り組んでおります。身近な取り組みでも「サステナビリティ活動」として非常に大切だと考えておりますので、今後もエコキャップ回収活動を継続し、積極的にサステナビリティ活動に取り組んで参ります。



以 上